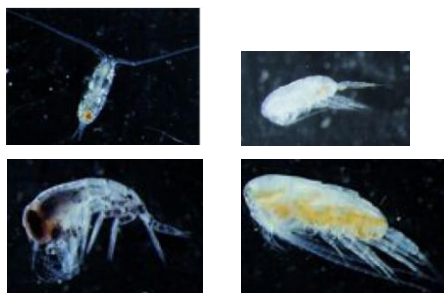


サケ稚魚放流情報 No. 4



令和 8 年 4 月 3 日
 岩手県水産技術センター
 漁業資源部（担当：岡部）
 TEL：0193-26-7915
 FAX：0193-26-7920

3月下旬の各湾内の表面水温は6～7℃台で、各湾で前年よりも低くなりました。また、動物プランクトン沈殿量は各湾で平年よりも多くなりました。

多くの湾で動物プランクトンの増加が確認されていることから、十分なサイズに育ったサケ稚魚については、放流を検討してください。また、しばらくは同様の海況が継続する見込みであることから、後期採卵の稚魚については、飼育の継続を検討してください。

1 表面水温（℃）

	野田湾 ^{*1}	宮古湾	山田湾	唐丹湾	越喜来湾	大船渡湾
観測値(3/23, 24)	7.4	6.7	7.3	6.2	6.4	7.9
平年 ^{*2}	7.3	6.7	6.6	5.9	6.2	7.2
前年同期	8.1	9.1	8.6	7.8	7.9	8.8

3月下旬の各湾内の表面水温は6～7℃台で、各湾で前年よりも低くなりました（図1）。沿岸域にあった5℃以下の冷水は縮退が確認されました。

2 動物プランクトン沈殿量（ノルパックネット鉛直20m曳き、mL/m³）

	野田湾 ^{*1}	宮古湾	山田湾	唐丹湾	越喜来湾	大船渡湾
観測値(3/23, 24)	0.35	1.12	1.13	1.19	1.59	1.92
平年 ^{*2}	0.31	0.71	0.66	0.46	0.51	0.97
前年同期	0.25	0.53	1.12	0.13	0.26	1.06

3月下旬の動物プランクトン沈殿量は各湾で平年よりも多くなりました（図2）。特に唐丹湾から大船渡湾にかけては、前年と比較して大きく増加しています。

今後、岩手県沿岸域には親潮の差込みや黒潮続流の北偏等は見られず、同様の海況がしばらく継続する見込みです。動物プランクトンの量に注視する必要がありますが、北海道太平洋沿岸の冷水も当分の間は留まる見込みであることから、まだ放流サイズに到達していない後期採卵の稚魚については、飼育を継続する余地はあると考えます。

3 その他

- (1) 北上丸による沿岸海洋観測・動物プランクトン発生状況調査（5湾）及び当センター並びに県北広域振興局水産部による野田湾の観測調査によるものです。
- (2) いわて大漁ナビ (<https://www.suigi.pref.iwate.jp/>) の定地水温情報・衛星画像や当センター発行の海況情報等も参考にしてください。

※1 野田湾は3月25日に観測・調査を実施、動物プランクトン沈殿量はネットを2回曳いて測定。

※2 平年は過去20～23年間の同期の平均値。野田湾はH17、H19及びR3～7の7年間の調査結果の平均値。

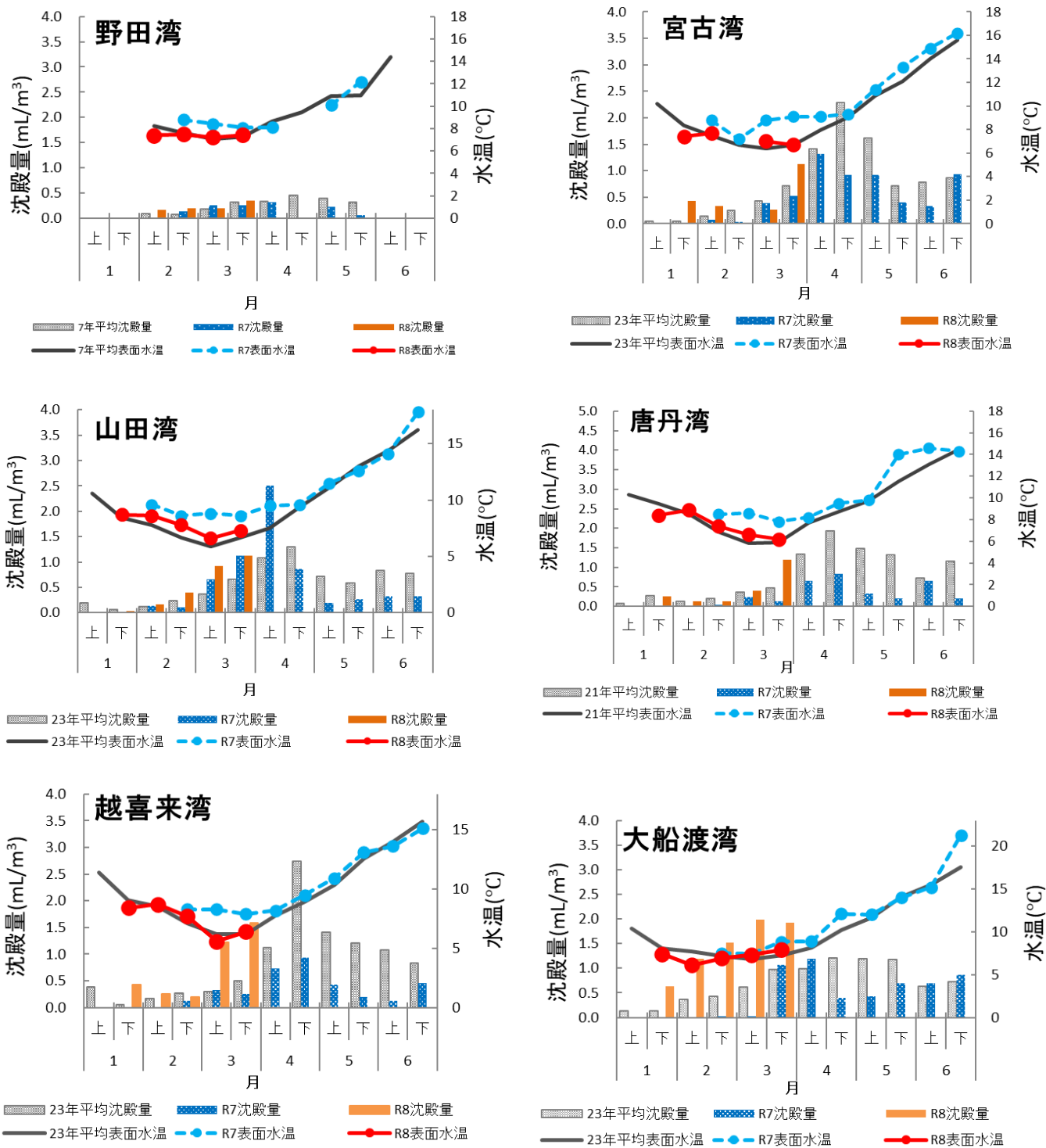


図1 6湾における動物プランクトン沈殿量及び表面水温の月旬毎の変化
 ※水温値が欠落している箇所は欠測であり、併せて同期の沈殿量データも欠落している。

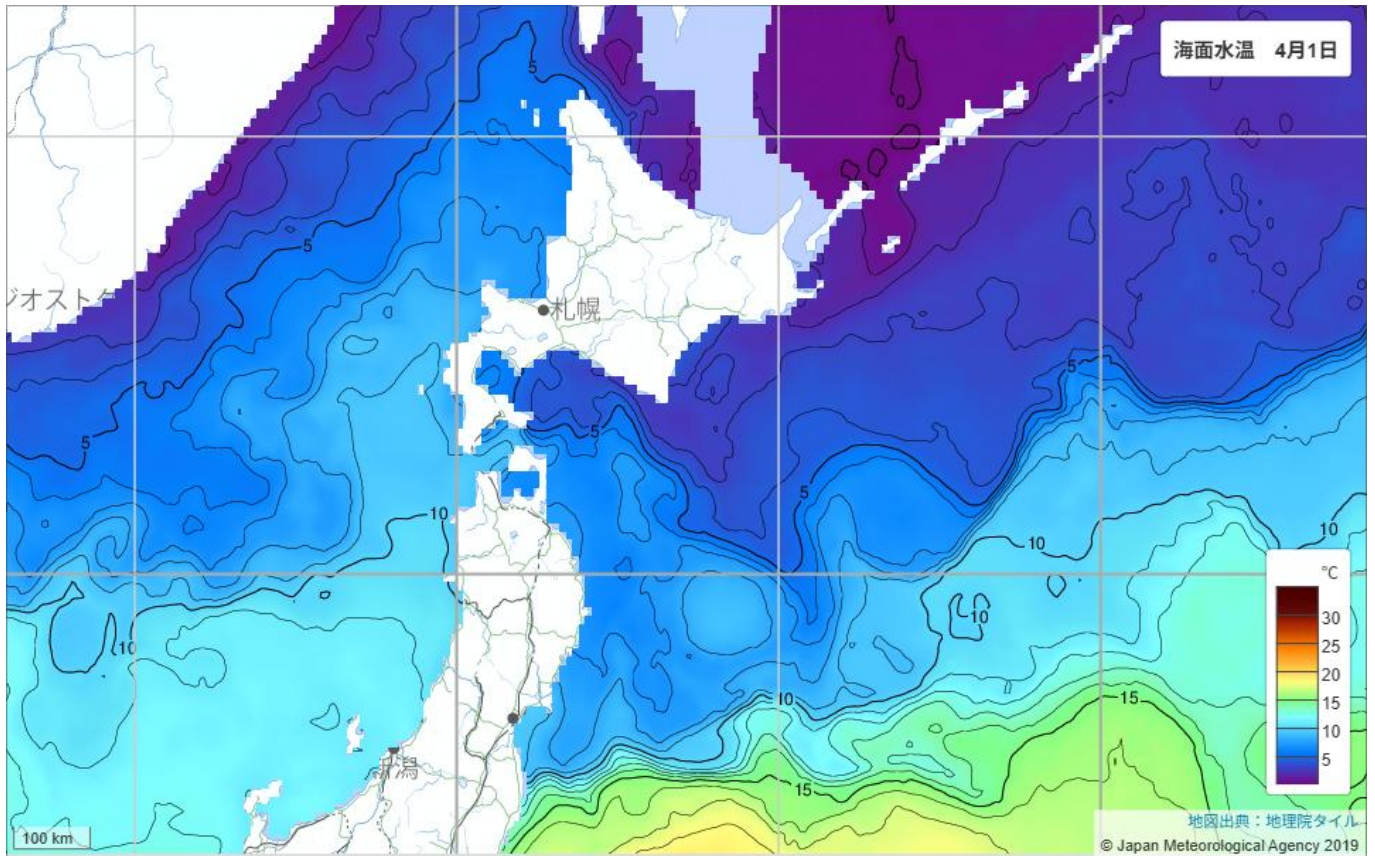


図2 令和8年4月1日の海面水温図

※気象庁 HP ([気象庁 | 海面水温実況図 \(jma.go.jp\)](https://www.jma.go.jp)) より引用

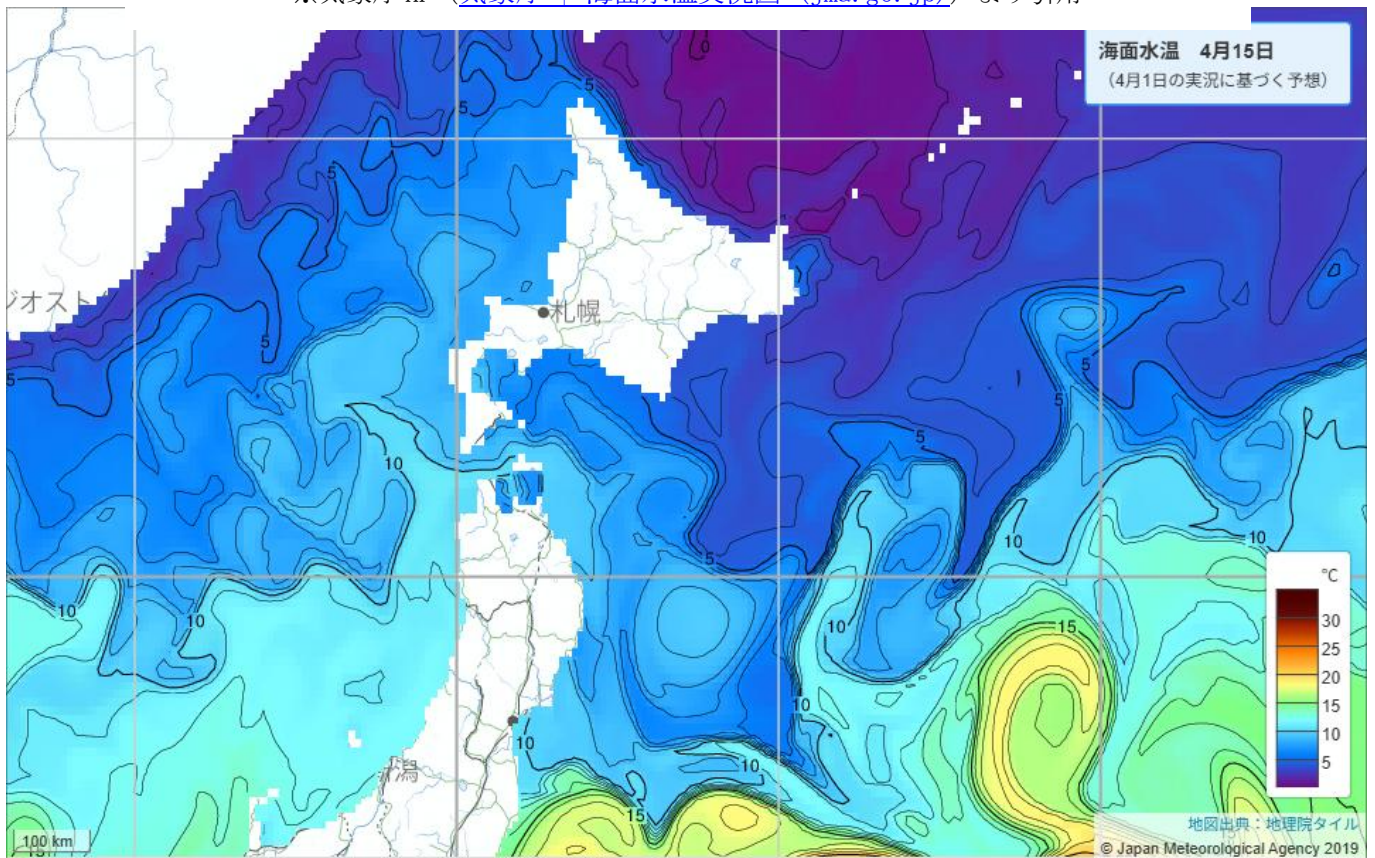


図3 令和8年4月15日の海面水温予想図

※気象庁 HP ([気象庁 | 海面水温実況図 \(jma.go.jp\)](https://www.jma.go.jp)) より引用